

この国の医療と介護について真剣に考えてみよう！
「人口減少社会における医療と介護の在り方
～これまで、いま、そして、これから～」

2015年1月26日（13:00-15:00）

場所：早稲田キャンパス 27号館地下1階小野記念講堂

日本社会は、過去30年間、世界でも稀にみるスピードでの少子高齢化を経て、2005年
に至って人口減少局面を迎えた。生産人口が減少し、社会の最小単位である世帯が細分化し
つつある一方で、医療・介護を中心とした公的なケアを必要とする人口が増大する中、社会
が有する限られた資源（ヒト・モノ・カネ）をどのように分配するかが重要な課題となっ
ている。

来る2015年1月26日、本学教授牛丸聡氏をモデレーターとして、社会保障の最前線で
政策に深く携わっておられる、社会保障審議会会長の西村周三氏と中央社会保険医療協議会
（中医協）会長の森田朗氏のお二人を講演者としてお迎えし、日本における医療と介護の来
し方行く末について、本学学生とともに考え議論するためのシンポジウムを開催する。

講演者

西村 周三氏

京都大学 名誉教授／一般財団法人 医療経済研究・社会福祉協会 医療経済研究機構所長／
前国立社会保障・人口問題研究所 所長／社会保障審議会 会長



京都大学名誉教授、一般財団法人 医療経済研究・社会福祉協会 医療経済研究機
構所長、公益財団法人・年金シニアプラン総合研究機構理事長、社会保障審議会会
長。経済学博士。専門は医療経済学。同分野における日本の草分け的存在の一人で、
医療経済学会の初代会長を務める。1969年京都大学経済学部卒業、京都大学教授、
同大学副学長を経て、国立社会保障・人口問題研究所所長。2014年3月に同研究所
を退官後、現職。

森田 朗氏

東京大学 名誉教授／現国立社会保障・人口問題研究所 所長／中央社会保険医療協議会 会長

東京大学名誉教授、国立社会保障・人口問題研究所所長、中央社会保険
医療協議会（中医協）会長。専門は行政学・公共政策研究。日本行政学
会理事長を務める。東京大学大学院法学政治学研究科教授、同大学公共
政策大学院教授（初代院長）、同大学総長特任補佐、学習院大学法学部
政治学科教授を経て、2014年4月より現職。



モデレーター

牛丸 聡氏

早稲田大学 政治経済学術院 教授／前中央社会保険医療協議会 公益委員



早稲田大学高等学院、政治経済学部、東京大学経済学部卒業、東京大学大学
院経済学研究科博士課程修了。青山学院大学経済学部教授を経て、1996年
より現職。専門は財政学。2008年より、3期にわたり、診療報酬改定結果
検証部会会長など、中央社会保険医療協議会公益委員を務める。